

第15回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット

平井知事基調発言

尊敬する、大韓民国江原道 金振旿知事、ロシア連邦沿海地方 ダリキン知事、中華人民共和国 吉林省 王儒林省長、モンゴル国中央県 エンフバト知事、そして御臨席の皆様、こんにちは。

今回で15回目を迎えました北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットが、韓国江原道において開催されますことを心よりお祝い申し上げます。皆様と再会でき、大変うれしく思います。

また、金振旿知事におかれましては、北東アジア地域の共同発展の礎を築くため、永きに渡り、本サミットを主導していただきました。その先見の明と指導力に敬意を表しますとともに、これまでの御尽力に深く感謝申し上げます。

現在、北東アジア地域は歴史的な大転換期を迎えようとしております。富と経済力が欧米から急激にシフトし、北東アジアは現在、世界経済の新たな成長の「極」として注目されています。2009年10月現在で、中国、韓国、ロシア、モンゴル、日本の5カ国のGDP合計額は、世界の約5分の1を占めるに至っており、10年前と比較しても約1.7倍と大幅に増加しています。

このように、北東アジア経済圏の拡大は、世界のリーダーシップを握るほどに発展が期待されています。日本では鳩山首相が、東アジア地域の経済協力と将来的な地域統合を視野に入れた「東アジア共同体構想」を昨年10月に提唱しました。この構想は、世界一の経済成長を続ける東アジア地域を、米国、欧州共同体に匹敵する地域連合とすることを視野に入れたものです。

加速する経済成長の中で、北東アジアでは様々なプロジェクトが動き始めました。

沿海地方では2012年にアジア太平洋経済協力会議首脳会議が開催されます。会議開催に向けた開発プロジェクトへの莫大な投資は、北東アジア地域への経済波及効果のみならず、沿海地方を「アジアの窓」としてPRする絶好の機会であると考えます。

吉林省では、図們江地域協力開発計画が2009年8月に中国政府から承認され、国家プロジェクトとして、目覚ましいインフラ整備が展開されようとしております。

中央県では、モンゴル政府による新国際空港建設が予定されており、「新ウランバートル国際空港」建設プロジェクトが2015年の開港を目指して動き出そうとしております。

そして今回の舞台である、ここ韓国江原道平昌郡は、2018年冬季オリンピック開催の有力候補地となっております。今年2月のバンクーバーオリンピックでの韓国選手の大躍進が記憶に新しいところですが、その勢いで今度こそ開催地に決定されることを願っております。鳥取県といたしましても積極的に支持をしてみたいと思います。

鳥取県は、全世界で人気の高いマンガ「名探偵コナン」や「ゲゲゲの鬼太郎」を描いたマンガ界の巨匠のふるさとであります。現在、韓国、中国、香港をはじめとする世界各国の漫画家が一堂に会する「2012国際マンガサミット」の開催を目指しています。これを契機として「マンガ王国 鳥取」をポッ

プカルチャーのメッカにしようとしています。

また、鳥取砂丘をはじめとする「山陰海岸」は、日本海形成の歴史の記憶を壮麗な海岸、山並みに刻み込んだ世界的な地質遺産であり、現在、「世界ジオパークネットワーク」への登録に向けた最終審査に入ったところです。

これらのプロジェクトにより、我々北東アジアに対する世界的関心が更に強まるものと確信しております。

昨年、モンゴルで開催されたサミットにおきまして、私は「ダイヤモンド・クインテット」構想を提案いたしました。これは、サミット参加地域がその強固な信頼関係の下、お互いの陸・海・空のインフラとネットワークを連結させた交通網を構築し、世界の「人」「モノ」「情報」が行き交う、ひとつの経済共栄圏として、共同发展を果たすべく提唱したものです。

私は、この構想実現のため、様々な交通基盤や経済交流基盤の整備に力を入れてまいりました。

空の玄関口である米子空港は、国際ハブ空港である仁川空港と結ばれており、韓国のみならず、中国・ロシア・モンゴル各国との交流に欠かせない交通インフラとなっております。

昨年12月には、滑走路の2,500メートル化が実現し、その飛行距離と輸送能力も格段に向上し、国際空港としての機能が高まりました。現在、ウラジオストクへのチャーター便実現に向けて関係機関と調整を図っているところであり、また、「米子鬼太郎空港」と命名し、その魅力を高めることといたしました。

昨年6月に就航した鳥取県、江原道、沿海地方を結ぶ環日本海定期貨客船もこれまで順調に運航しており、約3万人の方にご利用いただいております。

今月、モスクワにおいて日露知事会議が開催され、この定期貨客船の利用促進について強く訴えたところ、「日露間の定期貨客船とシベリア鉄道を結ぶ物流ルートの構築とその安定化」が、本会議の共同声明文に盛り込まれました。また、その機会に併せて沿海地方のダリキン知事と友好交流協定を締結し、両地域は新たな第一歩を踏み出しました。

更には、江原道 金振旻知事、沿海地方 ダリキン知事とこの度合意を結び、海運航路活性化に共同で取り組むこととなりました。具体的には、基幹貨物の確保、観光客誘致、通関手続きの簡便化などを進めるとともに、各地域の情報データベースとして「北東アジア貿易観光情報センター」を鳥取県において開設することとしております。

加えて、ウラジオストクに「鳥取貿易センター」を本年2月に開設し、貿易促進のためのビジネスマッチングに乗り出したところです。

関西圏と鳥取を結ぶ鳥取自動車道もほぼ開通を果たし、関西圏との距離がぐっと縮まり、日本国内での鳥取の利便性が高まりました。

我々は、まだまだ新しい挑戦を続けなければなりません。

鳥取県は日本における「北東アジアゲートウェイ」として、北東アジアと日本、特に西日本との交通の結節点を目指して、「人」「モノ」の往来を加速させるためのインフラ整備を引き続き促進してまいります。

今回のサミット本会議のテーマは「図們江地域開発計画と連携した北東アジア地方間経済協力」であります。

図們江は北東アジア地域の中心に位置し、北はロシア、東は朝鮮半島、西はモンゴルと国境を接し、日本とは海を隔てて向かい合っています。

この開発計画の対象地域は、我々サミット参加地域と特に関わりが深い地域であり、北東アジアの未来を導く原動力となる図們江開発は、非常に重要なプロジェクトであると考えております。

特に、開発地域と日本を結ぶ唯一の航路である境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の活性化は、この図們江地域を中心とする北東アジア地域のヒト・モノの流れを劇的に変化させ、図們江地域開発計画の前進に大きく寄与するものと確信しています。

また、鳥取県からの提案として、GTI の対象地域に、鳥取県、そしてこの定期航路を図們江地域開発計画に加えるよう、サミット参加地域の皆さんも UNDP に働きかけていただきたいと考えております。

韓国、ロシアだけでなく、ウラジオストクと陸路で結ばれた中国東北3省もカバーできることが、この貨客船の大きな強みであり、鳥取県では「北東アジア国際物流戦略」の一環として、貨客船を活用した中国との新たな輸出入ルートの開拓に向けて実証実験を検討しているところです。

私たちは、これまで経済交流、青少年交流、文化芸術交流、教育交流、スポーツ交流など、様々な分野で相互交流をすることで友好関係を深化させ、ダイヤモンドのように強く固い絆で結ばれた共同体として成長してまいりました。

このダイヤモンドを世界で最も強固で、光輝くものとするためには、今後とも各地域が協力し、さらなる交流促進、共同発展のために努力することが必要です。また、図們江地域開発などの経済開発プロジェクトなどを積極的に活用することで、この北東アジア地域を「世界の成長センター」として発展させ、豊かな繁栄と希望あふれる未来をともに築こうではありませんか。

この「ダイヤモンド・チャレンジ」に向けて一致結束して闘っていきましょう。

今回のサミット及び関連事業の成功と、北東アジア地域のさらなる発展、交流促進を祈念いたしますとともに、御尽力くださいました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、結びにあたり、このサミットの産みの親であり、育ての親である金振舩知事に心より感謝の意を表し、拍手を贈りたいと存じます。

金知事の偉大なリーダーシップがあったからこそ、我々5地域の絆が深まり、北東アジア地域の発展につながったものと確信しております。

今後、我々も一致団結して、地域発展のため努力いたしますので、引き続き、御指導いただければ幸いです。

御清聴ありがとうございました。